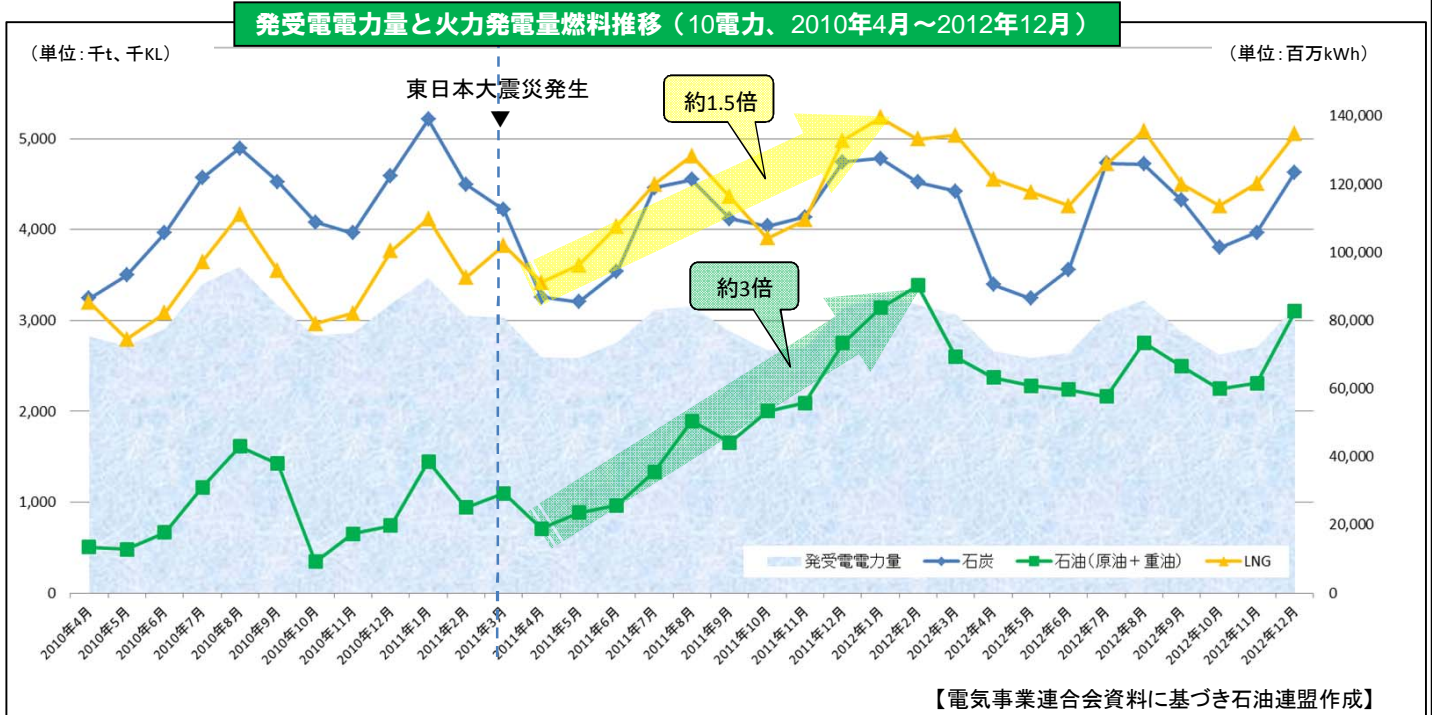


石油火力発電について

1. 東日本大震災以降、石油火力が活躍しました

- ◎ 東日本大震災の発生以降、原子力発電所の稼働停止に伴う供給力不足に対し、石油火力は供給安定型電源(バックアップ電源)として、系統電力の安定供給に貢献してきました
- ◎ 石油業界は、急激な発電用燃料の需要増に対し、C重油の増産とC重油/南方系原油の輸入増により供給量を確保するとともに、重油タンカーの手当が難しいなか、外航船の臨時投入等も行い、発電用燃料の安定供給に努めてきました



2. 今後も石油火力は「供給安定型電源(バックアップ電源)」です

- ◎ 新潟中越沖地震(2007年)や東日本大震災(2011年)以降に「石油火力」の果たした役割を評価するとともに、今後増大が予想される再エネの出力安定化対策として、「石油火力」を「供給安定型電源(バックアップ電源)」に位置付け、平時からの安定的な稼働が必要です
- ◎ 中長期的には石油火力のリプレースと排煙脱硫装置設置の検討が必要です

